

会報

野々市ロータリークラブ



笑顔で楽しい持続可能なロータリー

第1914回職場例会 金沢工業大学「夢考房」

2019年9月18日(水曜日)

卓話

国際高等専門学校

やまぎし とおる

事務局長 山岸 徹様

産業革命もしかりですが、技術が世界を変えられると言われて来ました。そんななか、国際高専は変化を受ける側ではなく、変化を起こす側の人材を育成しようと設立されました。そして、変化を起こすには世界に通じた広い視野を持った人材が必要となります。

前身の金沢高専でも取り入れていたことですが、英語によるコミュニケーション能力や、ITを使ったコミュニケーションなどに力を入れ、グローバルイノベーターを育てることです。ただ、これは基礎の高専の5年間だけでは成り立つことではなく、大学・大学院での専門性を含めた「5+4」の9年間の一環教育での取り組みが必要となります。1、2年生は全寮制の白山麓キャンパスで、基礎知識と日本人としてのアイデンティティを身につけます。同キャンパスは外国人教員が7割で、いち早く国際教育を受けることとなります。3年生になると全員がニュージーランドに留学します。外国に出て、新たな知識を得ることとなります。他には見られないこんな教育ですが、受験生となる中学生からの注目度はまだ低く、現在の1年生は13人、2年生は12人となっています。教員は31人います。

授業の中心となるのは、エンジニアリングデザインで、こ



会長あいさつ

■会長 宮川 務 様

本日は職場例会として、金沢工大「夢考房」の見学を行います。夢考房の見学は2回目となりますが、一昨年4月に新しい建屋が完成し、学生たちが自ら考え行動する技術者を目指すための支援を行なっているそうです。アイデアを形に、という思いで学生のみなさんはきょうも物づくりに励んでいます。見学の段階で分からないことがあったら、大いに質問して学びましょう。

なお、卓話は国際高専事務局長の山岸徹様をお願いしています。昨年も白山麓キャンパスを訪れ、お世話になりました。よろしく願いいたします。



れは知識を覚えるだけではなく、「〇〇ができる」という創造性と実践力を養うことです。夜の時間は、課外活動として夜の学校（ラーニングセッション）を行い、昼の授業の予習として何を質問するかを考えさせます。全室個室で、午後11時になると個室に戻ることが決められています。このように学生たちが学んだ技術や知識を国際的に生かす取り組みをしており、外国で触れ合うことで役立てています。



野々市RC会報

第1914回職場例会 金沢工業大学「夢考房」

2019年9月18日(水曜日)



「乗ってみたい」。そんな声が上がった「夢考房」は、学生たちが作ったソーラーカーや別の車用のエンジンなど、まさに「夢を考える工房」でした。

トピックス

■米山奨学金 9月分贈呈
米山奨学生 金丹さん

「夏休みにロシアに行って来ました。教科書のイメージしかありませんでしたが、体験して自分の生活を見直してみる機会になりました。」



【今後の例会プログラム】

25日 ガバナー補佐訪問
石川第一分区Bガバナー補佐
宮永満祐美様 (金沢百万石RC)

【10月】

2日 卓話 いみ行政書士事務所 新美静香様
9日 ガバナー公式訪問
RI第2610地区2019-2020年度ガバナー
松本耕作様 (金沢RC)
16日 休会 (10/19・20親睦旅行と入替)
19・20日秋を楽しむ会 (広島親睦旅行)

ニコニコBOX

宮川務様、新保良介様、石澤康様、下原学様、榎本いずみ様、金子武志様、織部秀一様、山口武様、中川修一様、齊藤邦博様、中井登喜子様、木戸喜美夫様、礪野哲也様

13件 合計 17,000円

■ 野々市ロータリークラブ事務局 ■

〒921-8821 石川県野々市市白山町8-15
TEL(076)294-1232 FAX(076)294-1522

(公社)野々市市シルバー人材センター2F
Mail: jim@nonoichi-rc.jp